

製品名: GIRK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87696**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:49 kDa; Observed MW:46 kDa

抗原情報

遺伝子名	GIRK2
別名	wv; BIR1; GIRK2; KATP2; KCNJ7; Kir3.2; weaver
遺伝子ID	16522, 25743
SwissProt ID	P48550, Unigene, 328720
免疫原	マウス GIRK2 の組み換えタンパク質

背景

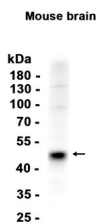
Gタンパク質活性化内向き整流性カリウムチャネルの活性を活性化する。甲状腺ホルモン代謝過程の上流または内部で作用する。プ

ルキンエ細胞シナプスの平行線維に位置する。シナプス前膜の不可欠な構成要素である。消化器系、脳、眼、泌尿生殖器系、骨格など、複数の組織で発現する。この遺伝子のヒト相同遺伝子は、アルコール使用障害およびヘロイン依存症に関与することが示唆されている。ヒト KCNJ6 (カリウム内向き整流性チャネルサブファミリーJメンバー 6) と相同性がある。[Alliance of Genome Resources 提供、2022年4月]

研究分野

-

画像データ



GIRK2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。